

# CineXtools FAQ

## 1. cineXtools とは?

cineXtools は、複数のモジュールで構成されたスタンドアロンのメディアファイルと成果物の管理アプリケーションです。ノンリニアエディターとファイル配信プロセスとあわせてご利用いただくツールです。

主要モジュールは cineXinsert です。これは、ビデオ、オーディオ、字幕データを既存のフラットファイルに書き込むことができます。これらのインサートはパッケージには追加されないため、元のデータが新しいデータに置き換えられた場合は真の上書きとなります。

退屈な再エクスポートや問題を修正するための QC の繰り返し無しのファイル成果物の作成についてご説明いたします。

**cineXtools モジュール:**以下の 5 つで構成されています

- ① **cineXinsert:** ビデオ、オーディオ、及び CC パッチをフラットプログラムファイルに上書きします。
- ② **タイムコードエディター :** TC タイプ、ファイルの開始と実行時間を瞬時に変更
- ③ **トリム (Trim) と延長 (Extend) :** 既存のファイルから先頭と末尾を取り除き、インサート用にファイルの先頭、中央、または末尾に黒のフィラーを追加します。
- ④ **再ラップ (Rewrap) とオーディオバージョンング (Audio Versioning) :** オーディオトラックの追加または削除(最大 32)、既存のオーディオトラックを再マップして wave オーディオファイルとマスタービデオファイルを統合します。
- ⑤ **インサートメディア作成 (Create Insert Media) :** インサート先として後で使用するための黒のファイルを生成します。

## 2. cineXinsert とは?

cineXtools の主要モジュールは cineXinsert です。これにより、ビデオ、オーディオ、クローズドキャプションのデータを既存のフラットファイルに上書きすることができます。

cineXinsert は、cineXtools のソフトウェアとして利用可能で、すべての Cinedeck ハードウェアでサポートされている Cinedeck の画期的なファイルベースのインサート編集エンジン上で動作します。このファイルベースのインサート編集機能は、もともとリニアテープに備わっていて、録音、編集、および配信の標準がファイルになったときに失われた制作上の柔軟性を取り戻します。

テープと同じように、これらのインサートはパッケージに追加されません。元のデータを新しいデータでまさに上書きします。これにより退屈な再エクスポートや問題の解決のための心が折れそうになる QC の繰り返しなく成果物を作成することができます。

ます。

cineXinsert は現在、ProRes、DNxHD、XDCAMHD、AVC-Intra を含む MOV、MXF Op1A、MXF OpAtom ファイルで使用できます。さらに、cineXinsert は DPX ファイルもサポートしています。

### 3. cineXinsert や cineXtools の購入方法は？

cineXinsert は cineXtools の主要モジュールですので、すべての cineX に含まれています。  
(株)エディピットのオンラインストア(クレジットカード、PayPal、銀行決済)、または弊社の営業窓口へ直接お問い合わせください。

EDIPIT オンラインストア : <https://edipit.stores.jp/?page=2>

EDIPIT お問い合わせ : <http://www.edipit.co.jp/contact/index.php>

### 4. cineXinsert はどのように動作しますか？

ここでいうインサート編集は、既存のコンテンツを新しいコンテンツで上書きするプロセスです。

簡単に言えば、上書きのプロセスは、いくつかの要素に依存します - まず、デジタルの世界では、すべてが 1 と 0 で構成されるという事実に基づいて明確に定義されています。このことは、何かを見つけるのをとても簡単にします。インサート編集エンジンはフレームを識別するためにタイムコードを利用しますが、新しいコンテンツが必ずしも既存のスペースに収まるとは限らないため、フレームが異なるサイズ (VBR) のときにプロセスが阻害されることに注意することが重要です。

ともかく、宛先とソースが決まると、ソース内のビットが宛先のビットを置き換えるために使われます - 新しい 1 と 0 が配置され、不要な 1 と 0 を置き換えます。

ProRes の再ラッピングについてはこの FAQ で別途説明します。

### 5.cineXtools は Windows と Mac の両方で使えますか？

cineXtools はもともと Mac 用のソフトとしてリリースされましたが、2017 年に Windows 版もリリースされました。

どちらのバージョンも同じ機能をサポートしており、Mac は OS X 10.9 (AKA Mavericks) 以降、Windows は Windows 7 x64 (64 ビット) サービスパック 1 以降が使えます。詳細については、システム要件を参照してください。

### 6.cineXtools for Windows は ProRes をサポートしていますか？

はい。cineXtools は Windows も Mac もすべてのバージョンで ProRes をサポートしていますが、もちろん Cinedeck のハードウェアシステムでも ProRes をサポートしています。

## 7.VBR から CBR への ProRes の再ラッピングはどうなっていますか？

ProRes は 可変ビットレート (VBR) のエンコードに使われる非常に一般的なコーデックです。VBR では、各フレームはフレキシブルな量のデータ (可変データレート) を使用して圧縮され、フレーム全体をキャプチャするだけのデータが使われますが、それぞれの圧縮されたフレームは常に最大サイズに保ちます。各フレームの結果を圧縮するのに使用されるデータの量が異なると、それぞれが少しずつ異なるサイズになります。

ターゲットファイルにビデオをインサートするには、各フレームを同じサイズにしなければなりません。これを固定ビットレート (CBR) と呼んでいます。

VBR から CBR への cineX ProRes の再ラッピングはパディング処理です。再ラップは各フレームに 0 の束を追加するだけで、すべてのフレームが同じ量の領域を占有します。これは、再エンコードと混同してはいけません。ビデオは解凍後再圧縮されたわけではないので、ビデオのエッセンスには影響はなく、ファイルのコピーと同じように、再ラップは非常に高速です。

再ラップは水風船に例えることができます。中に入っている水の量はわずかに違いますが、風船のサイズはすべて同じにしたのです。これを行うには、いちばん大きな風船と同じ大きさになるまで、他のバルーンに空気を追加します。

もちろん、このプロセスは元に戻すことができます (空気を抜くことができます)。重要なのは、DNx などの他のコーデックは既に CBR なので、パディング処理は不要ということです。

## 8.ProRes CBR をお客様に配信できますか？

Cinedeck と cineXtools のユーザーからほとんどの放送局、スタジオなどが ProRes CBR を受け入れることを知りましたが、お客様が CBR ProRes を受け入れない状況でも、依然として価値あるツールです。

ショーが完了したら、すぐに CBR メザニンファイルを作成することをお勧めします。これは、異なるスレート版を作成することや、もちろん修正版をつくるなどの後続の手順に使用されます。このような中間ファイルを使用することで、フル再エクスポートや QC セッションに費やす時間のロスを無くし、必要に応じて CBR ProRes を VBR として再ラップして配信することができます。

Cinedeck は、ノンリニアエディターメーカーと協力して、CBR ProRes をエクスポートオプションにしたり、すべての企業が CBR を受け入れるように働きかけています。

## 9.iLok ライセンスキーが必要ですか？

いいえ、cineXinsert に iLok USB ドングルは不要になりました。Starting in 2017 年より、cineXtools アプリケーションの認証はマシンベースのライセンスがデフォルトになりました。

ライセンスは実際にはまだ iLok ですが、iLok ライセンスは特定のコンピュータにインストールすることも、ポータブル iLok USB ライセンスキーにインストールすることもできます。どちらの場合も、1 つのマシンまたはデバイスから別のマシンまたは

デバイスにライセンスを移すことができます。その際に iLok License Manager アプリケーションが必要です。

## 10.iLok ライセンスキーとは何ですか？

iLok ライセンスキーは、ソフトウェアライセンスを保持する USB スマートデバイスです。ひとつの iLok に複数のソフトウェアパブリッシャーから数百のライセンスを保存でき、複数の iLok をコンピュータに接続してソフトウェア製品を認証することができます。 cineXtools で iLok USB キーを使用するには、バージョン 2 以降が必要です。

## 11.iLok License Manager とは何ですか？

iLok ライセンスマネージャーは、iLok ライセンスを管理するために無料でダウンロードできるアプリケーションです。iLok アカウントでライセンスを受け取ったら、ライセンスマネージャーを使用して、PC または iLok USB ライセンスキーでライセンスを有効にすることができます。

License Manager を使用して、PC と iLok USB キー間でライセンスを移行することもできます。

ライセンスマネージャーは、毎年のプリペイドライセンスプラン、試用版ライセンスのインストール、および複数デバイス間でのライセンス転送に必要です。

Avid は iLok License Manager の使い方について、わかりやすい動画を公開しています：<http://learn-cdn.avid.com/KB/Vids/iLokLMOverview.mp4>

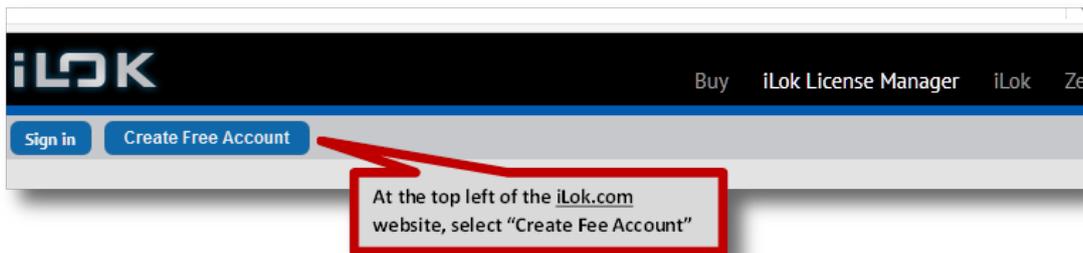
注：ナレーターは、ライセンスをコンピューターに移動できないと言っていますが、これは Avid ライセンス特有のものです。 cineXtools ライセンスは、コンピューターまたは iLok USB キーに移動できます。

## 12.ライセンスについて教えてください

cineXtools を起動する前に、システムにライセンスをインストールするか iLok USB キーの接続が必要です。

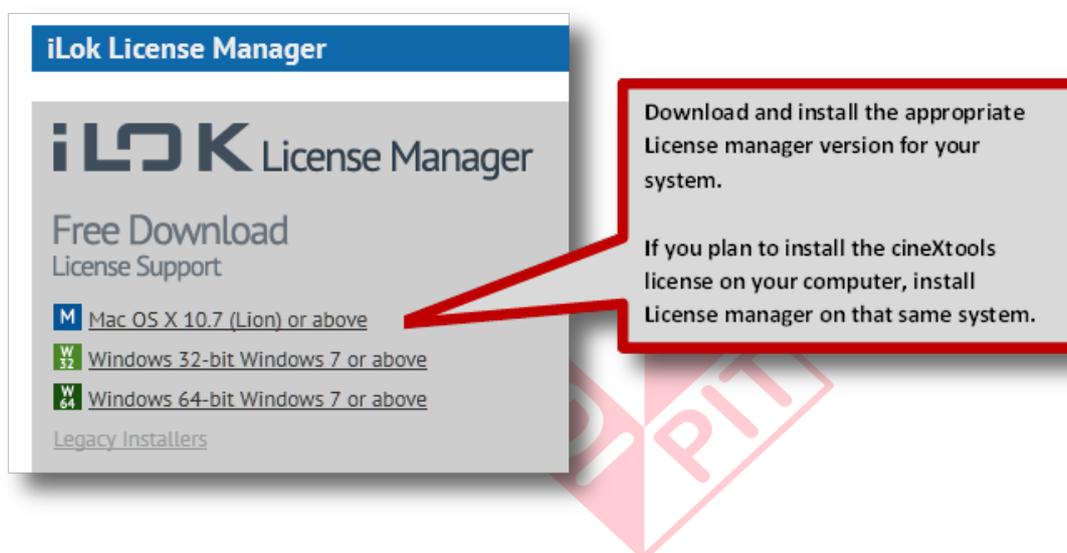
手順は：

- 1.iLok アカウントの作成（持っていない場合）
- 2.iLok License Manager をインストール
- 3.コンピューター上でライセンスをアクティベートするか、iLok USB キーを使用
- 4.cineXtools をインストールして起動



登録フォームに記入し、ID をメモします（後ほど必要になります）

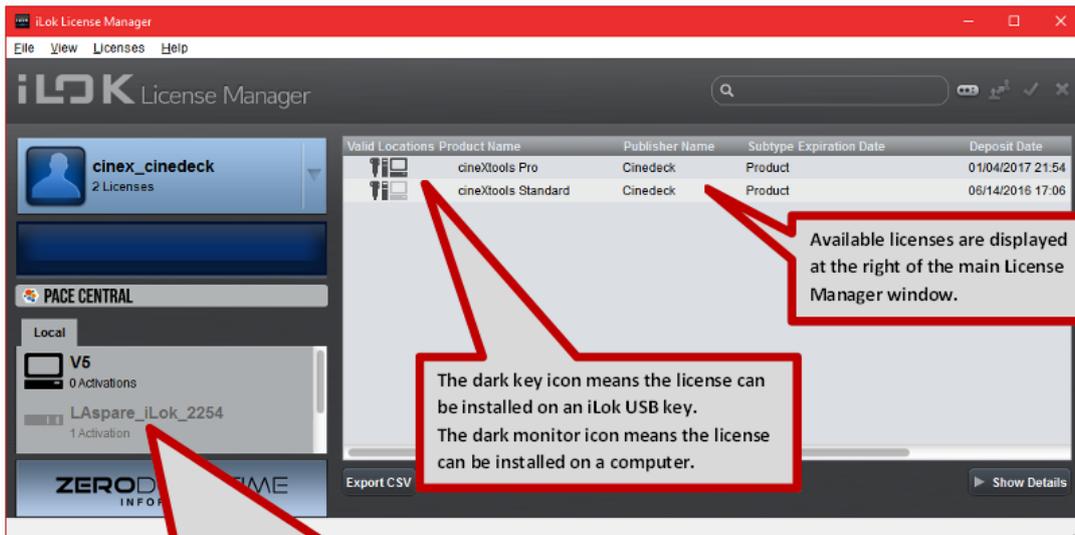
新規ウィンドウに iLok ホームページが開きます



User ID:

Password:

Remember User ID and Password on this machine

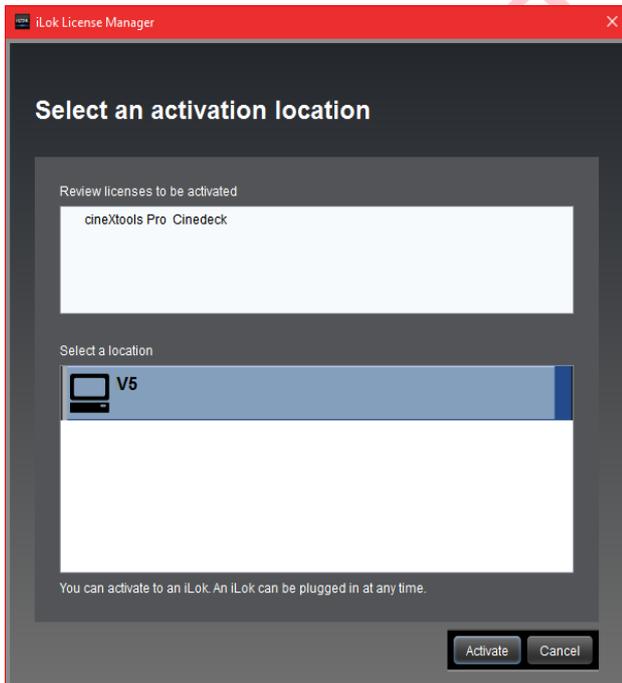


License destinations are shown at the left. Dark destinations are currently available to receive licenses. In this case, V5 is the local computer.

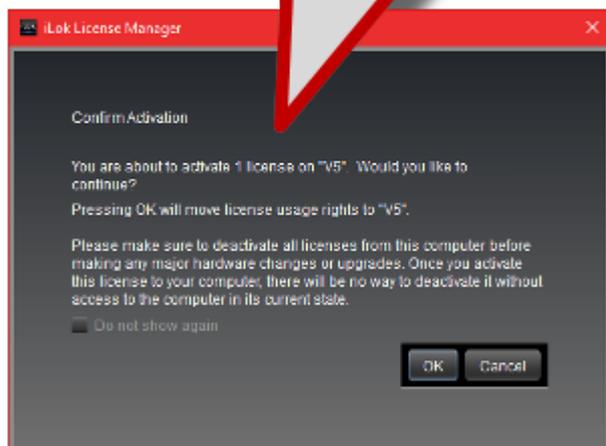
The dark key icon means the license can be installed on an iLok USB key. The dark monitor icon means the license can be installed on a computer.

Available licenses are displayed at the right of the main License Manager window.

cineXtools ライセンスを有効にするには、ライセンスをクリックしてコンピュータまたは iLok USB キー上にドラッグするか、ライセンスを右クリック (Mac = Control + Click) し、適切な宛先を選択して[Activate]を選択します。



Confirming moves and activates the license on the target destination.



ライセンスをコンピュータにインストールした場合は、cineXtools をインストールする準備ができています。インストール済みの場合は、cineXtools を起動します。

iLok USB キーにライセンスをインストールした場合は、初めて cineXtools を起動する前に、キーがコンピュータに接続されていることを確認してください。

#### **iLok USB キー:**

Windows cineXtools で iLok USB キーを使っている場合は、初回アプリケーション起動時に警告画面が表示されます。



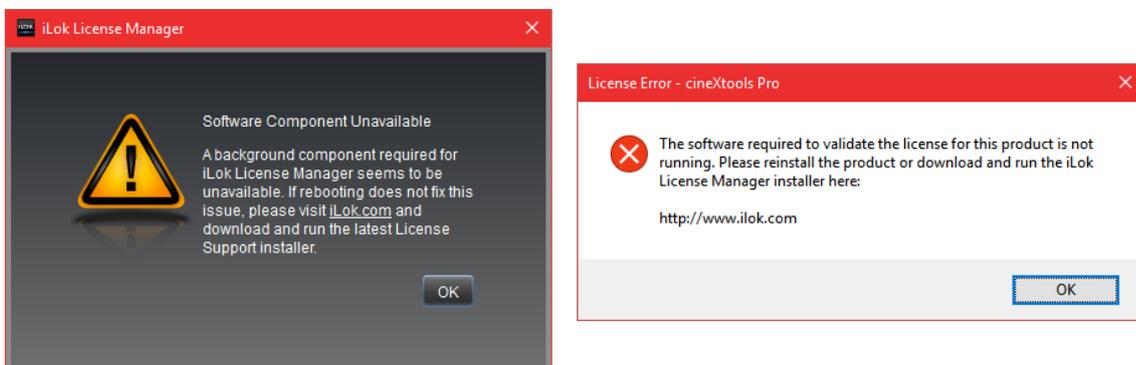
これはアプリケーションがマシン上でライセンスを探しているためです。  
“Continue” を選ぶと iLok USB キーのライセンスが使われます。

詳しくは、ビデオチュートリアルをご覧ください:

License Manager 概要の PDF をこちらからダウンロードしてください。  
さらにお手伝いが必要でしたら、Cinedeck サポートにご連絡ください。

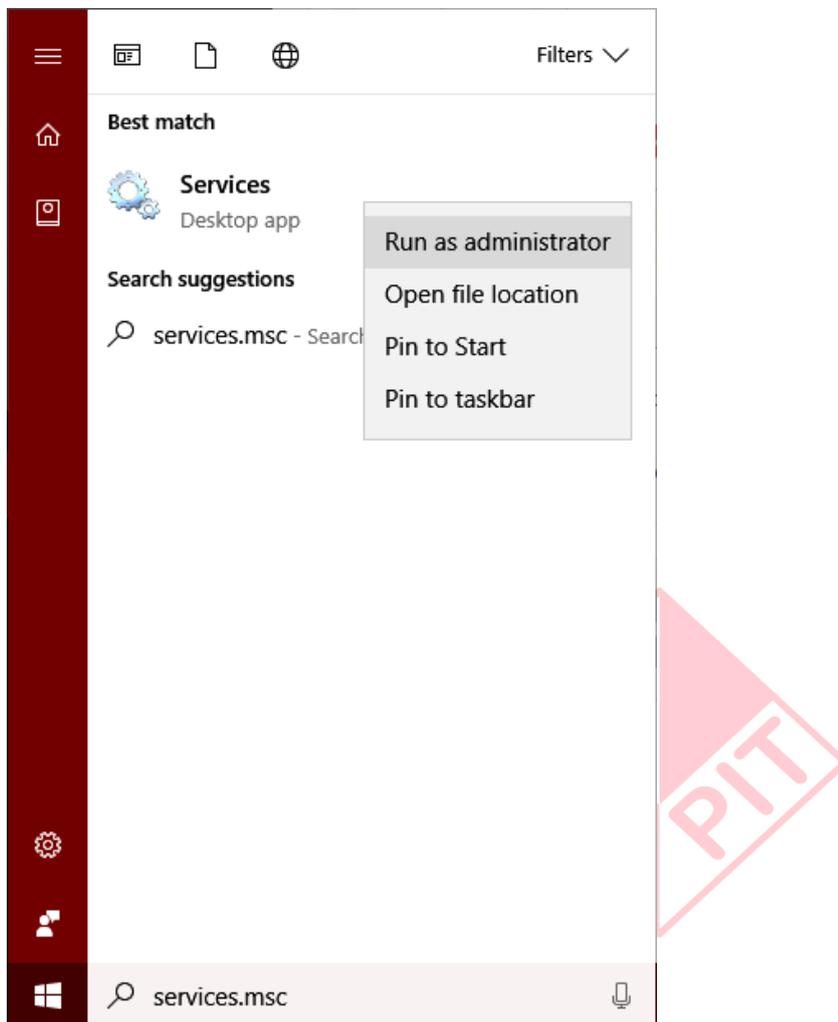
### 13. Windows システムで cineXtools または iLok License Manager が起動しません。なぜでしょうか？

iLok ライセンスマネージャーまたは cineXtools を Windows システム上で起動すると、アプリケーションが起動しないか、次のいずれかのエラーメッセージが表示される可能性があります。

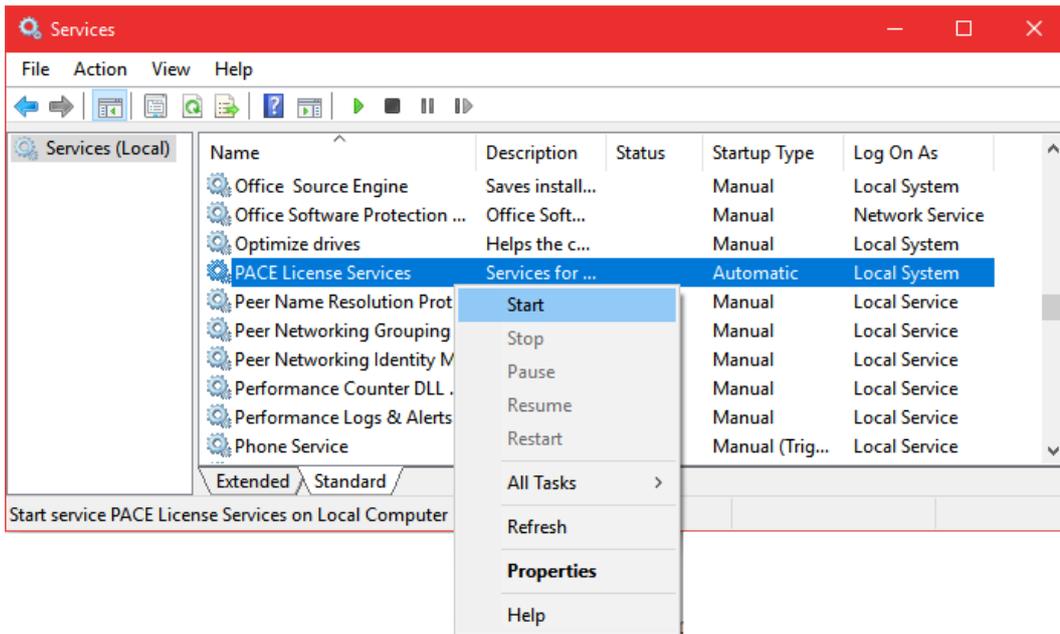


これは、アプリケーションの起動に必要な Pace License Service が正しく起動していないためです。

スタートメニューの“Run” または “なんでも聞いてください” ダイアログで、“services.msc” (引用符なしで)と入力してください。



メニューリストに出てきたら、“サービス” を右クリックして “管理者として実行” を選び、ENTER を押してください。



Services ウィンドウの右のリストにある“Pace License Services”を右クリックします。.

メニューから “Start” を選びます。

もう一度アプリケーションを実行してみてください。

。

### インストールエラーが起きる場合：

まず、cineXtools をインストールするには管理者権限が必要です。

Windows 10:

Mac または PC の標準的なインストール手順に従ってください。

Windows 10 をお使いの場合、最初にインストーラーを起動すると以下のダイアログが表示される場合があります。これは正常です。

## Windows protected your PC

Windows SmartScreen prevented an unrecognized app from starting. Running this app might put your PC at risk.

[More info](#)

Don't run

More Info をクリックし、以下のダイアログで“Run anyway”を選択してください。

## Windows protected your PC

Windows SmartScreen prevented an unrecognized app from starting. Running this app might put your PC at risk.

App: CineXtoolsPro.1.5.21.msi

Publisher: Unknown publisher

Run anyway

Don't run

Windows 10 インストールは通常そのあとに続きます。

Windows 7:

Windows 7 にインストールする場合は、似たようなダイアログが現れます。



“Run” を選ぶと Windows 7 インストールが進行します。

さらにサポートが必要な方は EDIPIT にご連絡ください。

#### ■ cineXtools の試用版またはデモライセンスはありますか？

はい、EDIPIT へ直接お申込み下さい。

現在、試用版は 1 週間ですが、リクエストいただければ延長可能です。その他の試用オプションも開発中です。

メモ：ライセンスを転送してアクティベートするには、iLok アカウントと iLok のライセンスマネージャーまたは、iLok USB ライセンスキーが必要です。

#### ■ クイックスタートガイドはありますか？

はい、日本語版クイックスタートガイドを用意しています。



〒104-0061 東京都中央区銀座 5-6-12 bizcube7F

株式会社エディピット(EDIPIT,INC.)

TEL 03-5931-7930(代表)

FAX 03-6685-5864

ご質問、お問い合わせ、DEMO 試用版のお申込みは WEB お問い合わせ Page からお願い申し上げます。

EDIPIT お問い合わせ：<http://www.edipit.co.jp/contact/index.php>